

平成23年政事業レビューシート

(環境省)

事業名	閉鎖性海域管理方策検討費		担当部局	水・大気環境局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	①H20-H22、②H22～		担当課室	閉鎖性海域対策室		閉鎖性海域対策室長 富坂 隆史			
会計区分	一般会計		施策名	3-3 水環境の保全 (海洋環境の保全を含む)					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	①21世環境立国戦略、海洋基本計画、経済成長戦略大綱、生物多様性国家戦略2010					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	①人間の手で管理がなされることにより生産性が高く豊かな生態系を持つ「里海」の創生を推進し、人間と海が共生する豊かな沿岸環境の実現を目指す。 ②海域における生態系の安定性と物質循環の円滑さの向上を図り、地域の実情に応じた栄養塩類の循環バランスを回復・向上させるための具体的な行動計画(栄養塩類管理方策)を確立し、豊かで健全な海域環境を構築する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①8つの地域において地方公共団体が参画する里海に係る活動の支援を実施した。また、活動の支援を通して里海づくりの手引書を作成した。 ②栄養塩類の円滑な循環を維持・達成するためのプランを策定し、それに基づき地域関係者が共同で対策に取り組むモデル地域について、周辺地域における栄養塩類負荷発生状況、水質・底質の状況、漁獲量の状況等を把握するとともに、陸域・海域バイオマスの増殖・回収機能強化に関する調査、物質収支モデルを用いた要因分析及び循環量の評価、新たな技術開発動向も踏まえた対策の抽出等を行い、具体的な行動計画を当該海域の「ヘルシープラン(仮称)」として策定する。さらに、モデル地域における検討結果を踏まえて、我が国の閉鎖性海域において適用できる、海域の実情に応じた栄養塩類管理方策を確立するための「海域ヘルシープラン策定要領」を作成する。								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	25	21	88	65	42		
		補正予算							
		繰越し等							
	計		25	21	88	65	42		
	執行額		15	21	77				
執行率(%)		60.0%	100.0%	87.5%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (24年度)	
	①住民参加による里海づくりの普及・定着、里海づくりの手引書作成			① 成果実績	段階	モデル地域における取組	モデル地域における取組	モデル地域における取組、手引書の作成	—
	②モデル地域における「海域ヘルシープラン」の策定及びその他の閉鎖性海域への普及を目的とした「ヘルシープラン策定要領」の作成			① 達成度	%	100	100	100	
				② 成果実績	段階	-	-	モデル地域における現状把握及び対策の検討	ヘルシープランの作成及び普及
				② 達成度	%	-	-	33	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	②里海創生支援モデル地域における取組の活動回数			活動実績 (当初見込み)	回	22 (20)	59 (30)	54 (15)	— —
	②海域ヘルシープラン作成のためのモデル地域数及び検討委員会の開催状況			② 活動実績 (当初見込み)				3地域 各3回開催 (同上)	— (同左)
単位当たりコスト	① 388(千円/里海づくりの活動1回) ②(60百万円/1地域)			算出根拠	①単位当たりコスト=H20～H22までの里海創生支援事業費52,413千円/取組の活動回数135 ②モデル地域における「海域ヘルシープラン」の作成に要する経費				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	環境保全調査費	65	42	24年度は必要最小限の予算要求にとどめた。					
	計	65	42						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>②適切な栄養塩類管理に向けた調査内容、検討方針については、詳細は地域毎に異なると考えられるが、閉鎖性海域を対象としたある程度一般的な調査内容、検討方針を盛り込んだ手引き、要領を作成することにより、より効率的、低予算で各地域における検討等が可能となると考えられる。</p> <p>また、各モデル地域における検討において、円滑な物質循環の構築に向けた具体的な対策内容のより詳細な検討、幅広い情報収集を行うことにより、対策実施時のより大きな効果が期待できる。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善	過大な要求とならぬよう、内容を精査の上予算規模を削減する。		
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
24年度は必要最小限の予算を要求することとし、要求額を減額した。			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
①「里海作りに係る事業等については、所期の目的が達成されたため廃止。」			

※平成22年度実績を記入

① 里海創生支援事業

環境省
16百万円
〔計画、工程管理、成果確認等の業務管理〕

【公募・委託】

A. 地方公共団体(3)
2百万円

〔地域における里海に係る検討会、現地体験活動等の実施〕

【一般競争入札】

B. (社)瀬戸内海環境保全協会
14百万円

〔里海づくりの手引書の作成、国際里海ワークショップ実施等〕

② 海域の物質循環健全化計画策定事

環境省
61百万円
〔計画、工程管理、成果確認等の業務管理〕

【企画競争】

C. いであ㈱
20百万円

〔各地域検討の統括〕

【総合評価落札】

D. 三洋テクノマリン㈱
13百万円

〔モデル地域(気仙沼湾地域)における検討調査・検討〕

【総合評価落札】

E. いであ㈱
15百万円

〔モデル地域(三河湾地域)に〕

【総合評価落札】

F. (社)瀬戸内海環境保全協会
14百万円

〔モデル地域(播磨灘北東部地域)に〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.兵庫県			E.いであ(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
印刷製品費	懇談会・協議会資料等	0.5	雑役務費	モデル地域(三河湾地域)における調査・検討	15
雑役務費	海底ゴミの清掃	0.2			
旅費	地元懇談会出席旅費等	0.1			
借料損料	機器借り上げ等	0.1			
消耗品費	現地調査用品等	0.1			
計		1	計		15
B.(社)瀬戸内海環境保全協会			F.(社)瀬戸内海環境保全協会		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	里海創生支援検討調査	14	雑役務費	モデル地域(播磨灘北東部地域)における調査・検討	14
計		14	計		14
C.いであ(株)			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	各地域検討の統括等	20			
計		20	計		0
D.三洋テクノマリン(株)			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	モデル地域(気仙沼湾地域)における調査・検討	13			
計		13	計		0

支出先上位10者リスト

A

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	兵庫県	現地体験活動等の実施	1.0	公募・委託	-
2	佐賀県	現地体験活動等の実施	0.6	公募・委託	-
3	志摩市	現地体験活動等の実施	0.7	公募・委託	-

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)瀬戸内海環境保全協	里海づくりの手引書の作成、 国際里海ワークショップ実施等	14	1	98

支出先上位10者リスト

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	いであ(株)	各地域検討の統括、調査検討方針の提示等	20	随意契約 (規格競争) ⁴	98.8

支出先上位10者リスト

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	1 三洋テクノマリン(株)	モデル地域(気仙沼湾地域)における調査・検討	13	2	84.0

支出先上位10者リスト

E

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	いであ(株)	モデル地域(三河湾地域)における調査・検討	15	1	98.6

支出先上位10者リスト

F

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)瀬戸内海環境保全協	モデル地域(播磨灘北東部地域)における調査・検討	14	1	93.3